



JAPAN 2015



23rd WORLD SCOUT JAMBOREE SCOUT MONDIAL 第23回 世界スカウトジャンボリー



第 23 回世界スカウトジャンボリー 大分県連盟派遣隊

大会本部員（理事長）	戸高 有基
大会本部員（副連盟長）	阿南 國康
大会運営スタッフ（事務局長）	内田 日出男
大分県連盟派遣隊 隊長	真田 康広
副長（5名）	佐藤 亨
	宮崎 哲男
	倉原 浩子
	出口 ルリ子
	楳本 宣秀
スカウト（37名）	

日本連盟派遣団 大分県連盟派遣隊
総計 50 名参加

大分県連盟派遣隊編成される

世界スカウトジャンボリーは、4年に1度、様々な国を開催地として世界中からスカウトが集まる大会です。

2015年に山口市阿知須・きらら浜で開催される第23回世界スカウトジャンボリーには、世界162の国と地域から約3万人の青少年が集まって約2週間にわたって開催されます。

日本での開催は、実に44年ぶりの開催です！大分県連盟としても世界各国よりやってきたスカウトと交流を深めるとともに、ホームステイやプログラムによって日本の伝統や文化、たくさんの魅力を伝え最高の「おもてなし」をしてほしいものです。



【戸高理事長より真田隊長へ
団旗が手渡されました】



県下各団より、ガールスカウト大分県支部より千羽鶴が託され、ピースプログラムへ



【連盟長へ出発報告】



決意表明する団員たち

世界の仲間と交流
スカウトジャンボリー
参加前に団員あいさつ
第23回世界スカウトジャンボリー(28日、8月8日、山口市)に参加する日本ボイススカウト連盟(戸高有基連盟)の団員たちが24日、県庁を訪れ、広瀬勝貞知事に出席のあいさつをした。

戸高理事長ら14人が訪問。団員の久保田智大君(16)大分舞鶴高2年や

世界スカウトジャンボリーは4年に1度開催され、国内では44年ぶり、147カ国から3万人以上が参加する。県連盟は14、17歳の団員を中心に50人を派遣する。

浦田竜馬君(16)大分県明高2年「らが「笑顔で帰れるように、みんなで頑張ります」と決意表明。広瀬知事は「世界の仲間と友情の輪を広げてほしい」と激励した。

